

原告訴状 準備書面	甲号証の 証拠説明書	補遺	準備書面などの タイトル	準備書面 メモ
1				
2				
3	訴状		甲第1～32	差止請求、損害賠償請求、人格権侵害、福島第一原子力発電所の事故、多重防護、大飯原発の危険性
4	第1		甲第32～37	IAEAの5層の深層防護、米国の6層の深層防護
5	第2		甲第38～58	地震・津波の基礎、近畿地方の巨大地震と大津波、大飯原発の想定津波は1.8m、FO-A、FO-B、熊川断層の3連動。長さ63km、基準地震動は760ガル
6	第3		甲第60	放射線とは、チェルノブイリ事故、放射線被ばく線量規制、環境基本法の改正と環境基準
7	第4			福井地裁判決(2014/5/12)、人格権、田中俊一・原子力規制委員会委員長
8	第5		甲第61～67	新規制基準の瑕疵について
9	第6		甲第68～92	避難計画の不備・実現困難性、想定被害
10	第7		甲第93～106	立地審査指針について
11	第8			避難計画の不備についての敷衍、舞鶴市の避難計画、京都府の避難時間シミュレーション
12	第9		甲第107～115	水素爆発対策、ジルコニウム
13	第10		甲第116～140	大飯原子力発電所のぜい弱性、放射線と被ばく、死の灰、止める、冷やす、閉じ込める、加圧水型PWR、過去に大飯原発で実際に発生した事故、老朽化
14	第11		甲第141～155	違法性論、国家賠償法1条1項、規制権限の不行使、原子力規制委員会設置法、ストレステスト、大飯原発3、4号機略年表
15	第12		甲第156～202	福島第一原発事故による汚染状況等
16	第13			自然代替エネルギーの可能性等
17	第14		甲第203～223	津波の危険性について
18	第15		甲第224～226	被告関電準備書面(3)(地震)に対する反論(1)
19	第16		甲第227～239	被告関電準備書面(3)(地震)に対する反論(2)
20	第17			「舞鶴市原子力災害住民避難計画」の概要と問題点
21	第18		甲第240～254	舞鶴市原子力災害住民避難計画
22	第19			平成27年12月24日福井地裁異議審決定の問題点
23	第20		甲第255～276	避難困難性の敷衍(京都市左京区久多について)
24	第21		同上	基準地震動未満の地震による炉心損傷の具体的危険性
25	第22		甲第277	(3、9大津地裁仮処分決定の意義について 川内原発稼働等停止等差止仮
26	第23		甲第278～284	綾部市避難計画の問題点について
27	第24			熊本地震及び島崎邦彦氏の指摘などを踏まえて
28	第25		甲第285～287	被告関西電力が反論していない原告の主張について
29	第26		甲第288～292	南丹市避難計画の問題点について
30	第27		甲第293～300	熊本地震及び鳥取中部地震等を踏まえて
31	第28		同上	高浜原発広域避難訓練から明らかになった問題点
32	第29		甲第301～338	宮津市避難計画の問題点について
33	第30		甲第339	再生可能エネルギーの可能性と原発の不経済性
34	第31		甲第340	木津川市避難計画の問題点について
35	第32			被告関電の地震・津波の想定の問題点(概論)
36	第33		甲第341～342	既存準備書面の訂正
37	第34		甲第343～356	行政文書紛失にかかる国に対する求釈明
38	第35		甲第357～360	「断層」とは何か
39	第36		甲第361～362	被告主張の地域特性に根拠がないことについて
40	第37		甲第363～364	京都市原子力災害避難計画の問題点について
41	第38		甲第365～368	被告関電は大飯原発の地盤特性を把握していないこと
42	第39		甲第369	上林川断層について
43	第40		甲第370～380	原子力規制委員会の「考え方」が不合理なものであること
44	第41			過酷事故における人的対応の現実と限界
45	第42		甲第381	避難困難性の敷衍(京都市左京区)
46	第43		甲第382～421	原発以外では政府が地震の予測不可能性を前提に最大クラスの巨大な地震
47	第44		甲第422～426	基準地震動の過小評価の危険性(主に島崎氏の証言を踏まえて)
48	第45		甲第427～428	地域特性の補充
49	第46			避難困難性の敷衍(避難所の問題点について)
50	第47		甲第429～431	大飯原発1、2号機の廃炉決定、司法の倫理と責任
51	第48		甲第432～434	1026年の万寿津波と大飯原発の危険性
52	第49		甲第435～437	「大飯地域の緊急時対応」の問題点
53	第50		甲第438～439	2017年台風21号による交通遮断、集落の孤立等
54	第51		甲第440～446	避難困難性の敷衍(避難所の問題点について)
55	第52		甲第447～449	廃炉の困難性について
56	第53		甲第450～463	核ゴミ問題について
57	第54		甲第464～466	原発事故関連死の状況について
58	第55			(原子力発電所に関する訴訟における国賠法の要件該当性)
59	第56		甲第467～476	名古屋高裁金沢支部判決の問題点
60	第57		甲第477～478	被告関電第17準備書面の地域特性の反論への再反論
61	第58		甲第479	避難困難性の敷衍(病院における問題点について)
62	第59		甲第480	大阪北部地震と上林川断層
63	第60		甲第481～482	避難困難性の敷衍(左京区における問題点について)
64	第61		甲第483～490	大阪府北部地震を適用すると1280ガルが予測される
65	第62		甲第491～495	火山影響評価に関する新知見と原子力規制委員会及び関西電力の対応に
66	第63		甲第496	いわゆる「社会通念論」批判
67	第64		甲第497～500	避難困難性の敷衍(京都府南丹市園部町における問題点について)
68	第65		甲第501	被告関西電力準備書面(16)に対する反論等
69	第66		甲第502～505	避難困難性の敷衍(原発事故からの避難の実態)
70	第67		甲第506～510	避難困難性の敷衍(京都府京丹後市における問題点について)
71	第68		甲第511～512	被告関西電力準備書面(22)に対する反論
72	第69		甲第513	被告関西電力準備書面(22)(23)に対する反論
73	第70		甲第514～519	2016年熊本地震を踏まえた主張
74	第71		甲第520～521	避難困難性の敷衍(南丹市日吉町における問題点)
75	弁論更新		甲第522	2020年9月8日の更新弁論関係
76	第72			火山及び特定重大事項等対処施設等に関する許可基準への不適合
77	第73		甲第523～528	火山影響評価、特定重大事項等対処施設等、DNP(大山火山の大山倉吉テフラ
78	第74			避難計画の問題点と、下記準備書面において縷々主張、おおい町地域防災計、舞鶴市避難計画、宮津市避難計画、綾部市の避難計画、広域避難先、京都市内のUPZにおける防護措置、原子力災害対策指針
79	第75		甲第529～574	南相馬市
80	第76			関西電力の隠蔽体質、自浄作用の欠如
81	第77		甲第575～578	被告関西電力のいわゆる「金品受領問題」について
82	第78		甲第579～583	過小評価された基準地震動、大飯原発の地盤は本当に堅固で地震に対して
83	第79		甲第584～585	大飯原発の基礎地盤の安定性評価は審査ガイドの要請を充たしていないこ
84	第80		甲第586～588	大阪地裁令和2年12月4日発電所運転停止命令義務付け請求事件判決につ
85	第81		甲第589	避難困難性の敷衍(原告西村敦子の個別事情について)
86	第82		甲第590	関電準備書面(25)(26)に対する反論
87	第83		甲第591	東海第二原発差止請求にかかる2021年3月18日の水戸地方裁判所判決の
88	第84		甲第592～594	国家賠償法1条1項の適用において違法であること
89	第85		甲第595	避難困難性の敷衍(避難所の問題点について)
90	第86		甲第596～601	舞鶴市の避難計画の受入困難性
91	第87		甲第602	避難困難性の敷衍(舞鶴市避難計画の問題点について)

92	第88	2021/12/6		関電準備書面(29)への反論(火山)	噴出規模11km ³ , 最大層厚25cm
93	第89	2021/12/6	甲第603	関電準備書面(28)への反論	岩石の種類、縦横比のごまかし、関電モデルの欠陥、大阪北部地震によると基準地震動は過小
94	第90	2022/2/22	甲第604~606	避難困難性の敷衍	福知山市原子力災害住民避難計画、ソーラーシェアリング、たんたん エナジーKK
95	第91	2022/2/22	甲第607	関電準備書面(30)への反論	すべり破壊、すべり安全率
96	第92	2022/5/26	甲第608~610	避難困難性の敷衍(高齢者避難の問題点)	特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、京都府地域防災計画、自宅介護高齢者、介護従事者、コロナ禍
97	第93	2022/5/26	甲第611	被告関電準備書面(32):地域特性への反論に対する再反論	原告ら第86準備書面
98	第94	2022/8/30	甲第612~613	避難困難性の敷衍(障がい者の避難困難性について)	京丹後市地域防災計画原子力災害対策編、障害児者多機能型生活支援センター、ろむ、生活介護事業、生活自立訓練事業「きらり」、日中一時支援事業、重度肢体障害
99	第95	2022/11/24	甲第614	被告関電準備書面(31)への反論	IAEA、原災指針、屋内退避における内部被ばく、屋内退避
100	第96	2022/11/24	甲第615~618	避難困難性の敷衍(おおい町原子力災害住民避難計画の問題点)	おおい町住民避難マニュアル(原子力災害)、安定ヨウ素剤
101	第97	2022/11/24		被告関西電力準備書面(33)第3、同(34)への反論(サイト特性に関して)	地盤モデル(関電モデル)、縦横比のごまかし
102	第98	2022/11/28	甲第619	被告関西電力準備書面(33)第2への反論	上林川断層、スケーリング測の標準偏差、インバー ジョン解析
103	第99	2023/2/17	甲第620~626	過酷事故発生時の公務員の被ばく労働の問題	自治体職員の被ばく、電離放射線障害防止規則(電離則)、放射線業務従事者の被ばく限度、メンタル疾患
104	第100	2023/2/20	甲第627	避難困難性の敷衍(舞鶴市の避難困難性について)	屋内退避、農業の被害、ヨウ素剤配布
105	第101	2023/6/1		関電の基準地震動の問題点—地盤特性について	(参照、前回更新弁論時の原告第76準備書面)、基準地震動
106	第102	2023/12/13	甲第628~629	避難困難性の敷衍(舞鶴市の避難困難性について)	美山診療所
107	第103	2023/12/14	甲第630	京都府北部の過去10年の通行止め発生の状況	京都府北部の道路の通行止め、原発事故と通行止めの関係
108	第104	2023/12/13	甲第631	被告国第5準備書面批判と水戸地裁判決の意義	第5層の深層防護、人格権侵害の具体的危険
109	第105	2024/3/1	甲第632~633	避難困難性の敷衍(障がい者の避難困難性について)	京都市民医連あすかい病院、COVID-19 クラスタ一時、感染症
110	第106	2024/3/6	甲第634~647	2024年能登半島地震が原告の主張を裏付けたこと	地盤の隆起、短周期地震動
111	第107	2024/5/27	甲第648~649	原告竹下真希子口頭弁論要旨	舞鶴市
112	第108	2024/5/29	甲第650~651	2024年能登半島地震が原告の主張を裏付けたことの補充	原告適格、概ね30km
113			甲第652~653	→第22準備書面関係(2024年7月3日)	
114			甲第654		
115			甲第655-1~6		
116			甲第655-7	赤松純平証人尋問資料(2024年9月20日)	
117			甲第656		
118			甲第657-1~16		
119			甲第657-17	証人 三瓶春江氏関係(2024年9月4日)	
120			甲第657-18~20	証人 三瓶春江氏関係追加(2024年10月9日)	
121	第109	2024/10/7	甲第658	甲第659	能登半島地震、隆起海成段丘、新規基準と適合性審査、スラブ内地震、地震時地殻変動、隆起海成段丘
122	第110	2024/12/3		神戸大学名誉教授石橋克彦氏の意見書(甲658)に基づいた主張	
123	第111	2025/1/24	甲第660	原告第111準	赤松尋問調書の誤記等
124	第112	2025/1/27		池内意見書「科学の限界と原発の安全性」について	複雑系、トランスサイエンス、低線量被ばく、原子力規制委員会の問題、避難計画
125	第113	2025/2/12		11/16の石橋先生尋問調書の誤記等の指摘書面	
126	第114	2025/2/12		「寸法効果」に関する補充主張等	地盤に低速度層がある場合の増幅効果、被告関電の「寸法効果」の主張、低速度層の存在とその要因
127	未	未		(慰謝料請求にかかる請求原因事実には、被告関西電力の大飯原子力発電所の1号機、2号機にかかる事情を含めない)	
127	未	未		被告国第8準備書面への反論(池内意見批判への反論)	

リンク不明など
ハイライト